

札幌市内のサケ観察ガイド

- ・豊平川をはじめ、札幌市内のいくつかの河川では、毎年シロザケが自然産卵していて、産卵の様子を観察できます。
- ・シロザケの遡上・産卵は、10～11月にもっとも多く見られ、観察しやすくなります。
- ・シロザケ以外では、真駒内川で9月中旬～10月上旬頃にサクラマスが産卵します。
- ・多くのサケが集まっていて観察しやすい場所は、年や時期によって変わります。お出かけの前にさけ科学館までお問い合わせください。

観察しやすい天候と時間

天候や日光の状態によって、観察のしやすさは大きく変わります。晴れた日の日中がもっとも見やすく、雨や雪の日、風の強い日は見つらくなります。

サケの見つけ方

メスザケは、川底に穴を掘って卵を産みます。ふだん藻が付いていて茶色い川底が、産卵場所だけきれいな石の色になっています。その周辺を探してみましょう。

産卵は岸近くの浅い場所でおこなわれることが多いです。水面に見えるサケの背びれや波紋、水しぶきなども、サケを見つける目安になります。

また、堤防や橋の上など、なるべく高い場所から広い範囲を見渡してみるのも、サケを早く見つける方法の一つです。

雨で川が増水しているときには、堰堤（川の中にある段差）の下でサケのジャンプが見られることがあります。

札幌市内のおもな観察ポイントは、裏の地図をごらんください。

服装と小物

- ・川の周辺は風が強く寒いので、暖かい服装でお出かけください。
- ・足元は、できれば長靴がよいでしょう。
- ・釣り具屋やメガネ屋で売られている「偏光サングラス」を掛けると、水の中の様子がとても見やすくなります。

お願い

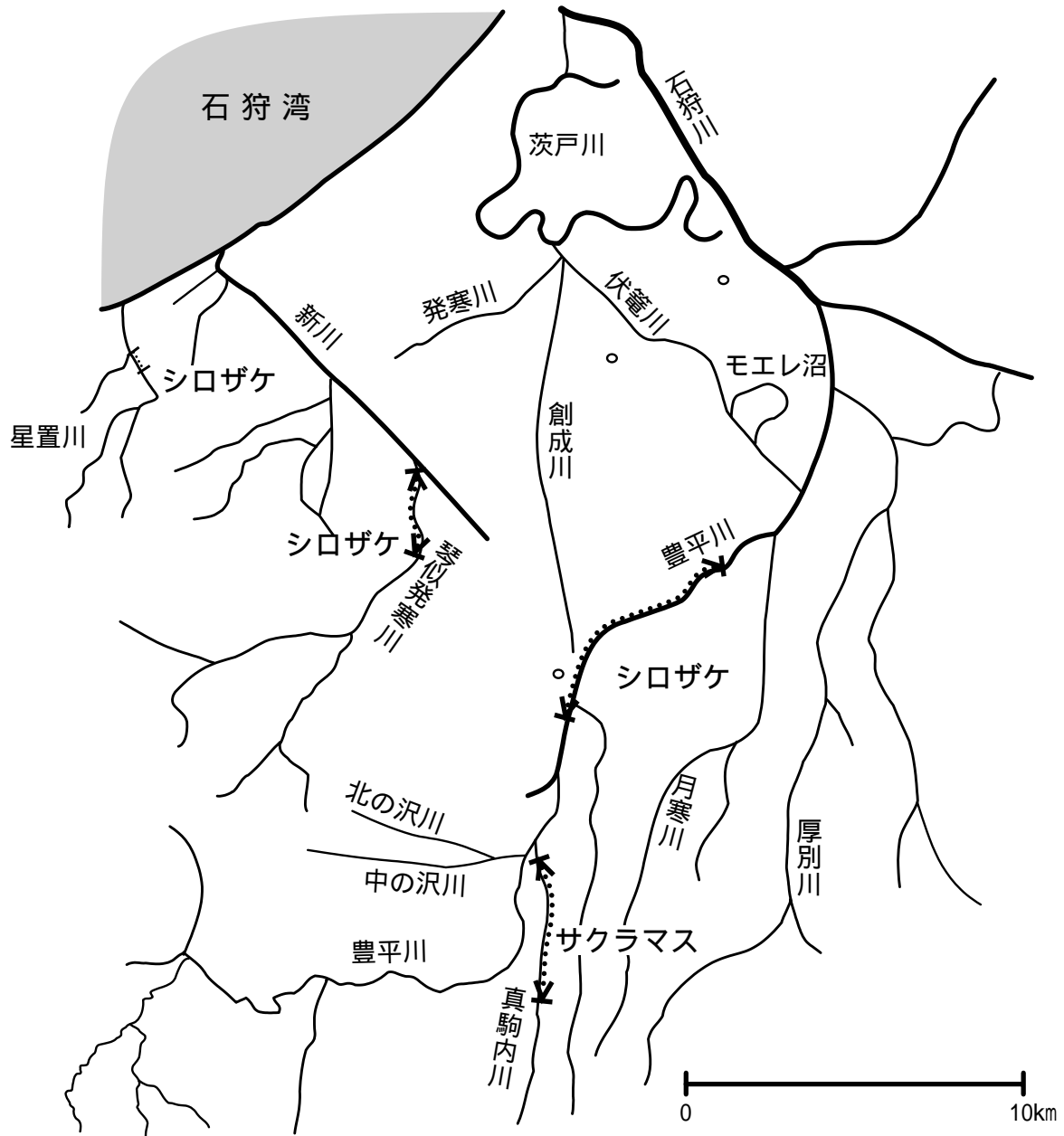
サケは長い旅を終えて、運よく生き残ったものだけが子孫を残すために川に帰ってきます。なるべく産卵のじゃまをしないように、静かに観察しましょう。

お問い合わせ先・情報提供

札幌市豊平川さけ科学館 電話 011-582-7555

ホームページ <http://www.sapporo-park.or.jp/sake/>

電子メール sake@sapporo-park.or.jp



シロザケとサクラマスのおもな産卵場所

河川別の観察情報

河川(魚種)	観察期間	およその回帰数	観察ポイント
豊平川(シロザケ)	10月上旬 ~ 11月下旬	千~数千尾	東橋~JR鉄橋、5号堰堤など
シロザケの数は一番多いですが、範囲が広くてわかりづらいので、観察ポイントはお問い合わせください。			
琴似発寒川(シロザケ)	10月中旬 ~ 11月中旬	百~数百尾	農試公園橋下流、寒月橋下流
小さな川の割にシロザケの数が多く、一番観察しやすい河川です。			
星置川(シロザケ)	10月中旬 ~ 11月中旬	十~百尾	星流橋直下(星観緑地内)
シロザケの数は少ないですが、ポイントがほぼ1か所(緑地内の三つ又の橋)なのでわかりやすいです。			
真駒内川(サクラマス)	9月中旬 ~ 10月上旬	数十~百数十尾	さけ科学館横、もなみ学園裏など
サクラマスは産卵期間が短く、シロザケよりも敏感なので、観察はなかなかむずかしいです。			